



流行予知科学

第4部 流行認知科学

10章 予知の認知科学

- 徴候は現在にあり
- 有徴記号の発見
- 1000に3つの確率

11章 記号の意味解釈

- - - 現象学的認識論

- フッサールの現象
- 判断中止の原則
- 記号の意味解釈

12章 徴候の解読

- - - 記号論的認知科学

- ”ひらめき”のメカニズム
- 推測による意味解釈

13章 意味のパターン認知

- - - 記号の連鎖的認知

- 知覚イメージの認知
- 統辞的・連鎖的認知
- 意味のパターン認識
- 三点測定の経験法則

14章 ディテクティブ・メソッド

- 犯罪究明の原理
- 証拠固め

15章 深層の意味解釈と予知

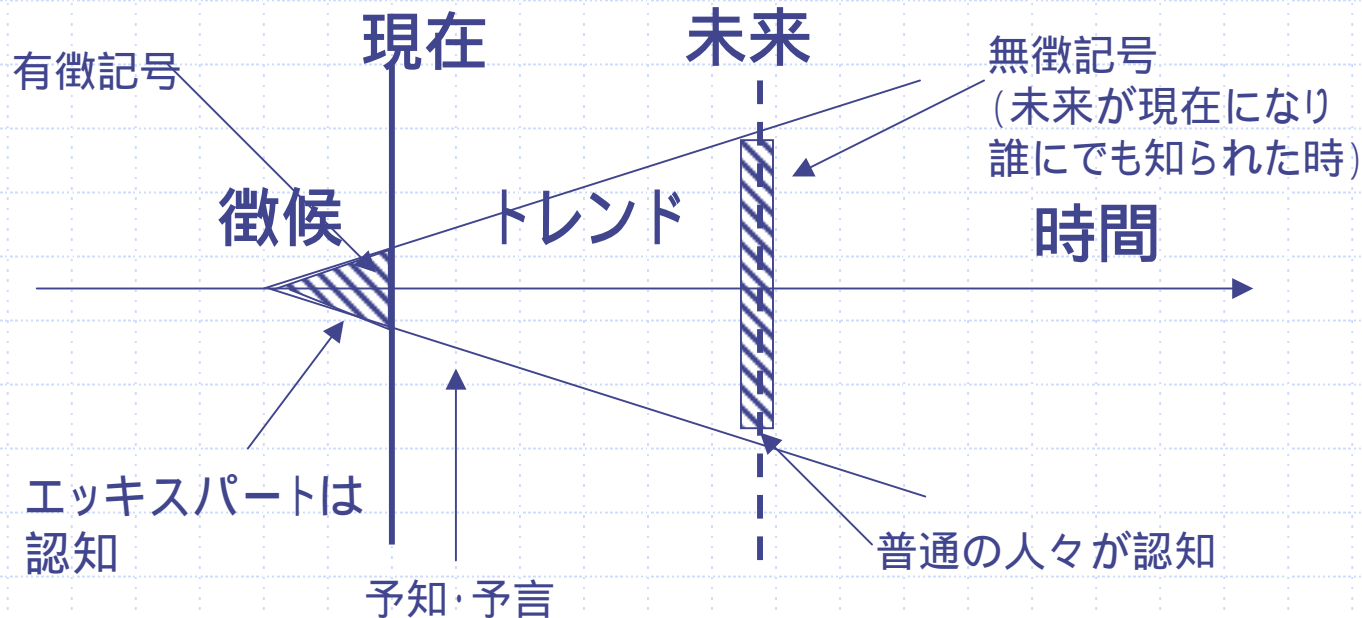
- 意味的世界の予知
- 深層の意味の記号化

予知の認知科学(徴候は現在にあり)

予知能力のエキスパートは普通の人気づかない変化の徴候を発見し、それを手がかりに徴候の背後にある見えない未来を推量する。

消費文化の例

現在の消費文化には、未来に向かった新しいトレンドとして拡大していく「徴候」がある
エキスパートはその徴候の小さい段階で認知し、普通の人大きく拡大した時点で認知する。その時間的格差が結果として予知であり、予言である



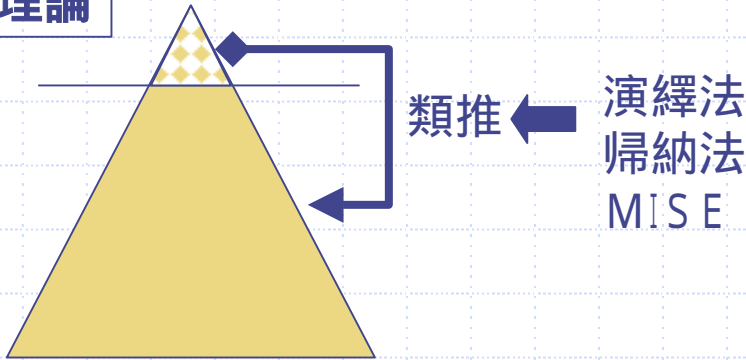
右に90°回転すると“氷山の一角”

予知の認知科学(千に三つの確率)

情報収集による有徴記号発見は千三つ

直感力 (有徴記号の発見は科学を越えた次元)
?????

対局の理論



観察事項

観察1

観察2

観察3

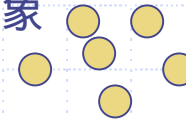
演繹法

帰納法

ルール・一般論

結論

事象



問題意識

類推

有徴記号
発見

直感力とは科学的・論理的訓練のもとで、強い意志(問題意識)の作用で得られた類推の結果である。

記号の意味解釈・・・現象学的認識論(フッサール現象学)

記号論的認知科学による予知メカニズム



直感的認知力
霊感的認知力

認知の過程で頭のなかで起きていること

フッサールの現象学

現実に対する認識的思考はもはや過去の存在



頭脳の内部の固定観念を破壊



「判断中止」の原則

生活世界
(流転)

現実

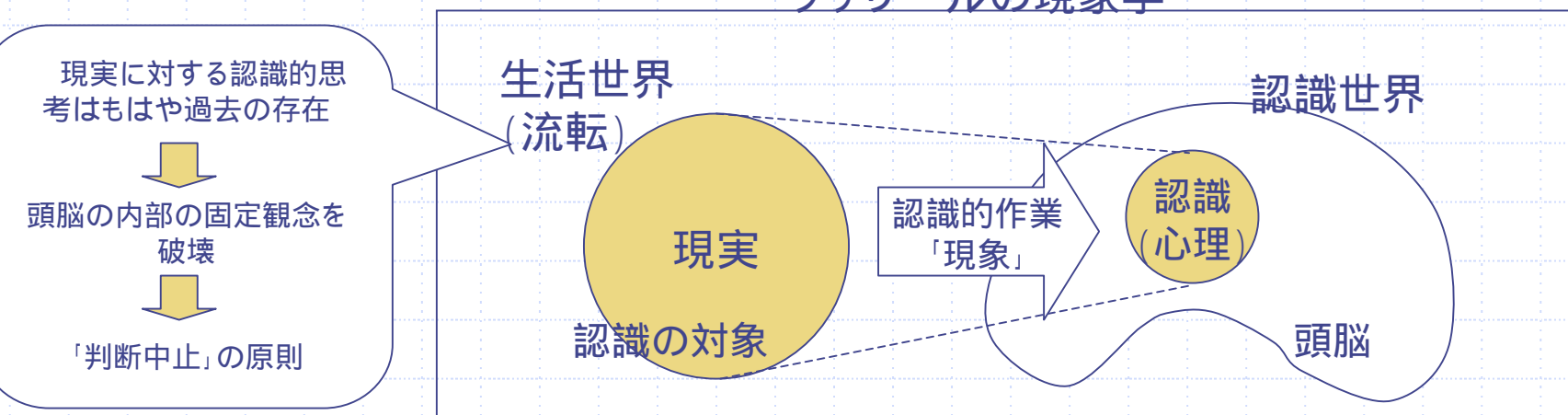
認識の対象

認識世界

認識的作業
「現象」

認識
(心理)

頭脳



記号の意味解釈・・・(シニフィエとシニフィアン)

スイスの言語学者フェルディナン・ド・ソシュールが記号論のパラダイムとして提唱

シーニュ(S);記号	
シニフィアン(Sa) 表層的記号	シニフィエ(Se') 深層的意味 コノテーション
シニフィアン (Sa) 形態	シニフィエ(Se') 表層的意味 デノテーション

- ・シニフィアンとシニフィエは表裏一体
- ・シニフィエは更に、表層的意味(デノテーション)と深層的意味(コノテーション)の多義性を持つ



リンゴのシニフィエ
(デノテーション)

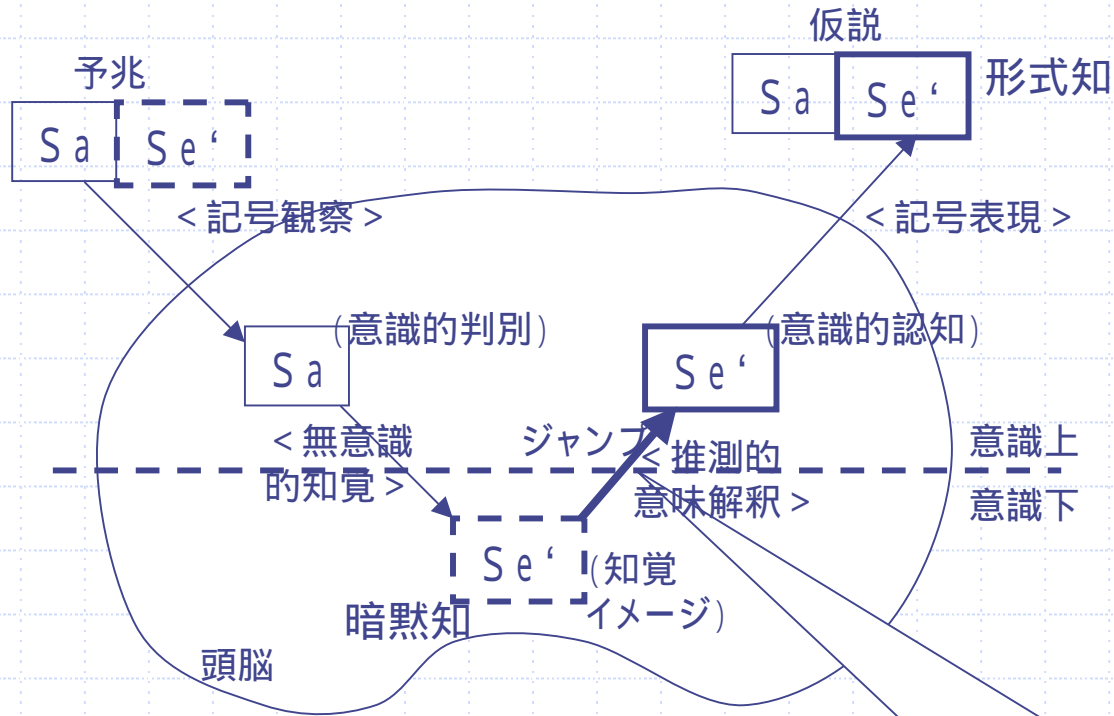
赤い
甘酸っぱい
ジャムに最適
香りがいい
東北地方又は青森

リンゴのシニフィエ
(コノテーション)

争い
ギリシャ神話の「争い(不和)のリンゴ」

未来予知とは、有徴記号を発見し深層的意味(コノテーション)を認知することに尽きる

徴候の解読・・・記号論的認知科学(“ひらめき”のメカニズム)



認知の瞬間

・ひらめき、洞察、靈感
インスピレーション

・記号論的認識論 「推測」

意味のパターン認知・・・記号の連鎖的認知(意味解釈の過程)

有徴記号の探査

左脳

・意識における
認知・思考

右脳

・意識下の認知
(直感的認知
洞察的認知)

Sa

表層的記号

Sa

知覚イメージ
(深層の意味)

Se'

新たな有徴記号
の探査

複数記号の探査

Sa

Sa

Sa

Sa

Sa

Sa

Se'

Se'

Se'

意味パターン認知

Sa

Sa

Sa

Sa

Sa

Sa

Se'

Se'

Se'

Se'*

Se'*

Se'*

意味解釈

持続的な努力
熾烈な意思の力

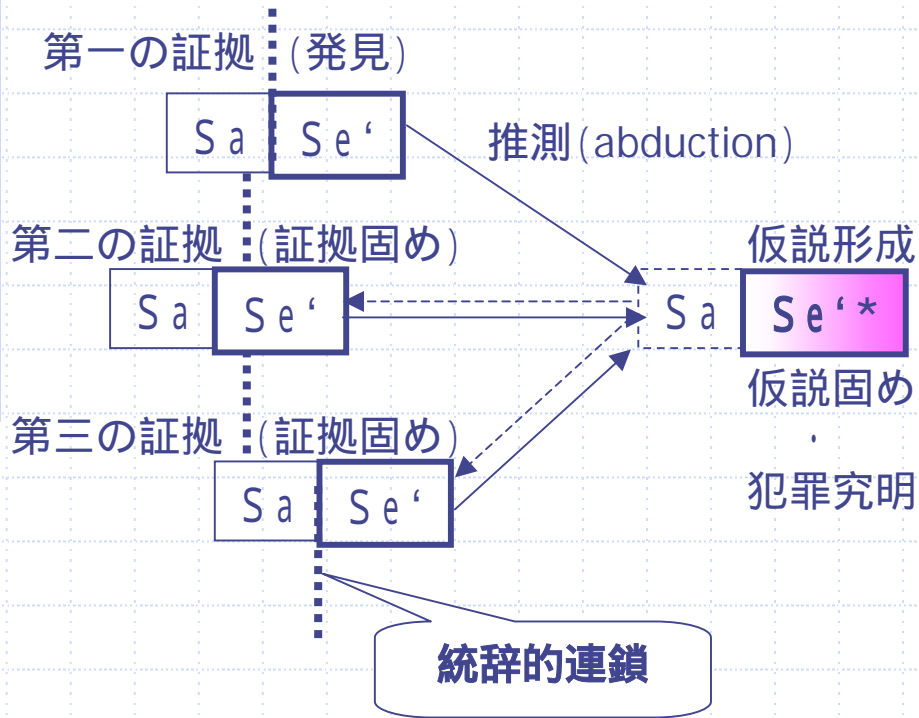
意味を持った認知瞬間
洞察的・霊感的推測
の認知

連鎖的に認知

統辞的連鎖 (syntax)

「情報の自己組織化」
(情報論的認知科学)

ディテクティブ・メソッド(探偵の方法)



最初の証拠から未知なる意味を解釈
; 仮説

仮説固めに第二・第三の証拠探索

統辞的連鎖をなす認知

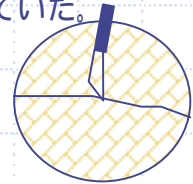
未知なる意味の究明

ディテクティブ・メソッド(探偵の方法)の原理は、認知科学的原理と同一である。

ディテクティブ・メソッド(探偵の方法) 例題(お遊び)

- ・ある40歳の男Aが妻の生命保険でペンションを開業した。
- ・開業祝いに5人(B, C, D, E, F)を無料で招待した。
- ・1泊目の夜Bが殺害された。そこに右図の犯人からのメッセージらしき証拠が残されていた。
- ・2泊目の夜に更にCとDが殺害された。また同様の証拠がのこされていた。

ひびの入った
丸いテーブルに
登山ナイフが刺
さっていた。



この事件の犯人と動機を推理して下さい。

なお、招待客B, C, Dのプロフィールは以下の通り

B: 40歳、男、高円寺に住み、桜田門の警察庁に勤めている事務官

C: 28歳、女、和光市に住み、四ツ谷の商社に勤めるOL

D: 36歳、男、錦糸町に住み、永田町に通う政治家の卵

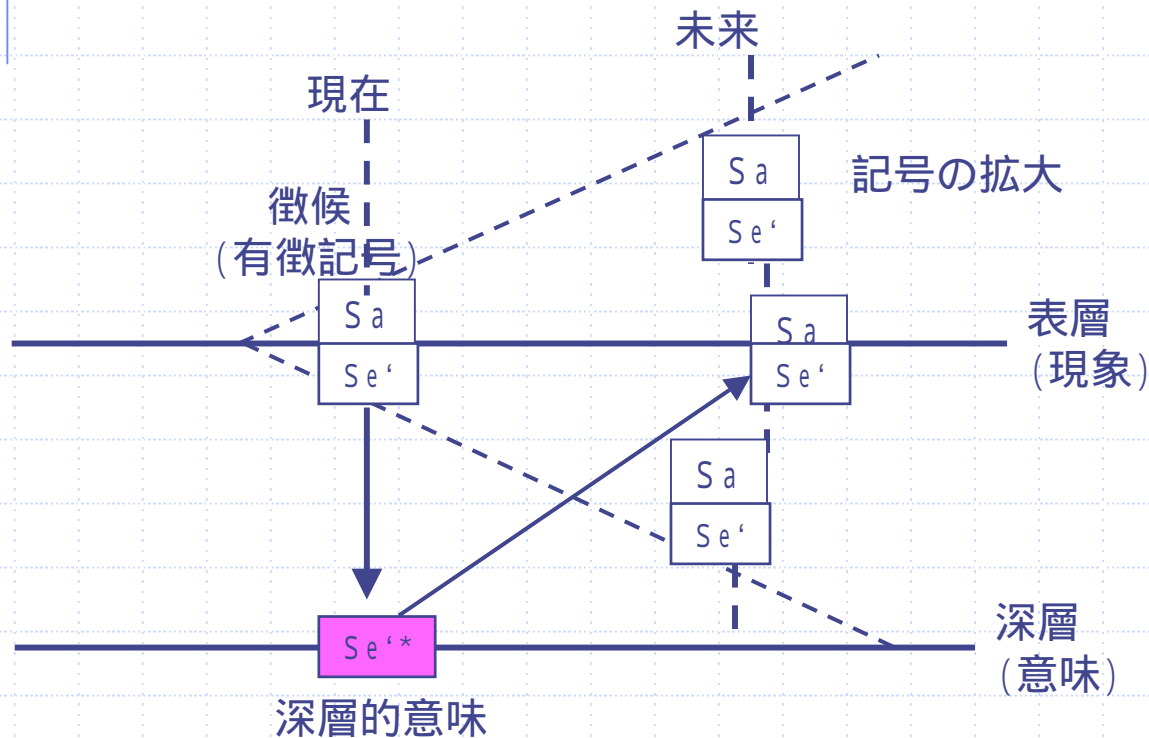
推理には、第二の証拠探索が必要です。質問して下さい。

深層的意味解釈と予知 (意味的世界の予知)

記号論の超近代科学的パラダイムは現実世界と、背後に隠れた意味世界も同時に捉える。

= 形態的世界と意味的世界を関連づけて体系的に認識

背後に隠された存在の「意味的世界」の認識 = 未来予知



未来予知の究極の原理

根源的な「深層的意味」認知



後は時の流れで意味が形式記号として表層化



結果として未来を予知